

(公社) 沖縄県建築士会まちづくり委員会企画「建築文化サロン2025」

近代建築の鉄筋コンクリート劣化対策

外壁塗装編

沖縄県建築士会まちづくり委員会では、ヘリテージマネージャーの養成講座やスキルアップ講座を行い、沖縄県の建築文化の向上に取り組んでいます。今回は、紫外線の影響を直接受ける外壁塗装について詳しく学ぶ勉強会を開催します。

2025年 10月29日 (水) 19:15~20:00 まちづくり委員会終了後

会場 : オンライン開催 Zoomミーティング

<https://us06web.zoom.us/j/85918038925?pwd=3EyVW4wbRQ4bE6DaXXfycxdZW21VYO.1>

* 当日まちづくり委員会に出席の委員はそのまま会場で視聴できます



参加費 : 無料

講師 : Sika Japan Ltd. Market Development Manager/TM Building Finishing/Construction Marketing
高橋恭一 (Takahashi Kyoichi)

問合せ先 : (公社) 沖縄県建築士会

E-mail : shikai@ryucom.ne.jp

主催 : (公社) 沖縄県建築士会まちづくり委員会

内容 :

1. 沖縄における外装仕上の課題
 - ・ 環境要因
高温多湿、強い紫外線、塩害、台風
 - ・ 劣化の特徴
白華・鉄筋腐食、塗膜の早期劣化
 - ・ メンテナンス周期の実態
本土より短くなる傾向 (例: 10年→7~8年)
2. 外装仕上塗材の種類と特性
 - ・ 主要種類
有機系 (シリコン・フッ素)、無機系、機能性 (遮熱・防汚)
 - ・ 性能比較の視点
耐候性・防汚性・耐塩害性・意匠性・コスト
 - ・ 選定ポイント
耐塩害、遮熱、防藻・防カビ性能の優先度が高い
3. 最新動向
 - ・ 環境・法規
カーボンニュートラル、省エネ対策、断熱
 - ・ 長期耐久性とLCC (ライフサイクルコスト)
初期コストよりも長期メンテナンス費用の重要性
 - ・ デザイン傾向
沖縄の景観と調和する白系・自然石調・マット仕上げの需要増
4. まとめ・質疑応答
 - ・ まとめ
外装仕上材は意匠性・耐久性・環境性のバランスが重要
沖縄特有の条件では耐塩害・遮熱性能の重視が必須
小エネ対策、LCCも検討